

【PDCA】

IV 地域や家族のつながりをつくるまちづくり

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	妊婦等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業(細目)名	妊婦等保健相談事業	事業番号	1104		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	2	連番

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	妊娠前から出産、子育て期まで、安心して相談できる体制、環境づくりを構築する。
Plan(事業概要・計画)	妊産婦が智頭町で安心して、穏やかに過ごすことができるように、妊産婦支援、子育て支援策を充実させる。 ・母子健康手帳の交付 ・家庭訪問、面談、電話相談の実施 ・産後ケア事業、産前・産後サポート事業の実施 ・妊婦健診、産婦健診、歯科健診の費用助成 ・特定不妊治療費の助成 ・不育症検査治療費の助成 ・妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施(出産・子育て応援交付金)

R5年度(3月末に実績見込を記入)

Do(実行)		R5実績額	4,688,659円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	産前・産後サポート事業	件(延)	0	1	1	#DIV/0!
②	産後ケア事業	件(延)	0	5	10	#DIV/0!
③	妊産婦家庭訪問・面談・電話相談	件(延)	4	5	11	125%
実施内容	・必要時、妊産婦家庭訪問、面談、電話相談を実施する。3月末時点で延11件実施。 ・妊婦一般健康診査、産後健康診査の結果を把握し、必要な妊産婦へ訪問や相談を行う。 ・産前・産後サポート事業の実施。3月末時点で延1件利用。産後ケア事業の実施。3月末時点で延10件利用。 ・各健診費用の助成、特定不妊治療費や不育症検査治療費の助成を実施。					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・親族が遠方にいるため、支援をうけにくい妊産婦が多い。さらに第一子の育児を行う不安や第二子の妊娠であっても第一子の育児との両立に困難さを感じる妊産婦が多く、産後ケアの利用につながっている。 ・妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施により、妊娠後期妊婦の状況を把握しやすくなった。					

R5年度(3月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 育児の負担感をもつ妊産婦が増加しており、事業の継続が必要。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
・関係機関と連携し、フォローが必要な妊産婦への家庭訪問、面談等を継続。 ・妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施を継続し、産前から妊婦との関係性を築き、状況把握を行い、産後の支援につなげていく。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	出合いの場「恋活」	所属	企画課	SDG s	5
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	3	連番

R5年度

Goal(目標)	豊かな自然の中で出合いの場として「恋活」を企画し、本町が思い出となりふるさととなることで移住者の増加を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 麒麟のまち婚活事業を実施。

R5年度

Do(実行)	R5実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	婚活イベントの開催	回	1	1	1	100%
②	婚活イベントの参加者数	人	11	10	9	82%
③	智頭町婚活支援事業補助金の交付	円	0	0	0	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・東部4町婚活イベントは令和4年度より廃止とし、1市6町による麒麟のまち婚活事業を実施。 ・5月に町内でちずぶる一婚活イベントを実施。カップル4組が成立。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちで行うため予算なし。 ・麒麟のまち婚活サポートセンターがイベント企画を行い、告知などを町で行った。 				

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 単町での取り組みについて検討が必要。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちでの婚活事業が活発化しているため、積極的に協議・活動へ参加する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き家バンクの充実	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	4	連番 105

R5年度（3月記入）

Goal(目標)	地域団体及び地域住民と連携し、空き家バンク制度を運営。移住希望者へ空き家のスムーズな紹介、及び空き家活用を推進し、廃屋となる物件増加に歯止めをかける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家所有者に対し、空き家バンク制度の周知を徹底し、新規物件獲得を目指す。 ・ 空き家バンクの見積もりを徴し、利活用が進んでいない物件の活性化を図る。

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R5実績額	100,000円			
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	新規空き家登録数	件	28	20	32 114%
②	空き家バンク物件見積徴取	件	0	5	5 #DIV/0!
③			0	0	0 #DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンクの運営 ・ 空き家バンク登録物件見積徴取 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産税送付の際に空き家バンク情報を掲載したことで新規登録が増加した。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 効率性でE判定になっている理由とその解決策を明記すべき。全体的に必要な事業であるため、細かい見直しを実施すること。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな空き家の発掘・空き家バンクへの登録を促し空き家利活用流通を促進する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	移住定住事業の積極的な推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	5	連番 106

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	移住希望者の受け入れ体制の強化及び定住促進の推進を図ることにより、緩やかな人口減少となるよう施策を講じる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住イベント（オンライン含）に参加し、移住希望者の確保に繋げる。 ・「SMOUT」を駆使し智頭町の情報発信を行い移住希望者の増加に繋げる。 ・移住相談の実施（オンライン含） ・各種補助金の交付

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	117,704,844円			
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
① 移住者数	回	28	20	43	154%
② 問合せ件数	件	56	60	59	105%
③ 移住イベントの開催・参加	件	11	6	8	73%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金の交付 ・移住イベントへの参加（オンライン含） ・SMOUTでの情報発信 ・移住相談、内覧の実施（オンライン含） 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・移住だけでなく定住促進を図るための施策が必要がある。 ・他事業と連携し、智頭町のPRをさらに行っていく必要がある。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：	移住者の確保は企画課だけでなく全庁的に実施することが重要。他課との連携を強化すべき。			

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進賃貸住宅をさらに新築し、移住定住者の増につなげる。 ・町単独イベントを実施し、町のPRを行い智頭ファンの獲得、また移住者の増につなげる。 ・空き家再生住宅の整備を行い、さらなる移住定住の推進また、空き家の利活用を促進する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特別支援学校通学児童生徒の支援と保護者の負担の軽減	所属	教育課	SDGs	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	7	連番

R5年度

Goal(目標)	県立特別支援学校に通学する児童生徒と保護者の負担軽減し、学びを保障するため、福祉有償
Plan(事業概要・計画)	運送事業者に通学に係る業務を委託するとともに、通学に係る経費を支援する。
<ul style="list-style-type: none"> ・県の通学支援事業を活用し、県立特別支援学校に通学する児童生徒、保護者を支援する。 	

R5年度

Do(実行)	R5実績額	6,845,000円
活動実績を示す指標		対前年比(%)
①	通学支援委託による登下校支援	104%
②		#DIV/0!
③		#DIV/0!
実施内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町シルバー人材センターに特別支援学校への通学支援事業を委託。 ・通学支援専用車両購入及び安全装置の設置 		

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校までの通学距離が長く、入学年度には通学支援を要する児童生徒が増える傾向にある。 						

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：子どもの通学手段を確保している。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のニーズに寄り添い、子どもの学習保障を行う上では必要な措置である。 ・子どもの育ちと将来的な自立を見据え、きめ細やかな通学支援を行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	豊かな子育て支援の推進	所属	課	SDGs	11
事業(細目)名	子育て推進事務	事業番号	1784		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	8	連番

R5年度

Goal(目標)	子育て世帯の育児・教育にかかる費用を補助し、子育てがしやすい暮らしをサポートする。
Plan(事業概要・計画)	・保護者の就労支援が豊かな子育てと家庭教育に繋がると捉え、多様化する就労形態にきめ細かく対応する。

R5年度

Do(実行)		R5実績額	8,147,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	対象者に子育て給付金制度の活用を周知	人	115	100	108	94%
②	智頭農林高校と連携した補助金交付	人	3	5	0	0%
③	対象家庭(高校生)に補助制度を周知					#DIV/0!
実施内容	補助金制度を対象者に周知し活用を進めることで、制度の趣旨に沿った効果を拡大させる。					

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	(1)子育て給付金 就労(保育園入所)より在宅育児を選ぶためのインセンティブとして月額30千円は少額だが勤務先で育児休業手当の支給がない保護者にとって経済的な救済効果は大きい。 (2)高校生通学費補助 居住地によって異なる通学費用が是正され、公平性が保たれている。					

R5年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 育児・教育経費の負担軽減が、充実した家庭教育に繋がっている。				
評価	B					

R5年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	・高校生通学費は3千円以上の補助となり近隣の生徒にも活用できた。 来年度は、智頭農林高校生の下宿費補助金も活用できると期待している。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ファミリーサポート事業の推進	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	ファミリーサポートセンター推進事業	事業番号	1788		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	9	連番

R5年度

Goal(目標)	依頼会員と支援会員がお互いに会員になり、地域での子育ての相互援助を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートにより育児のスキマを支え、子育てしやすい暮らしをサポートする。 ・子育てのサポートができる会員、助けてほしい会員を把握し、相互援助のための調整を行う。

R5年度

Do(実行)	R5 実績額	42,000円				
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	依頼会員	人	51	46	43	84%
②	支援会員	人	4	6	4	100%
③	支援利用数	人	1	5	1	100%
実施内容		<p>会員から、次の子育て依頼に応える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、小学校、児童クラブ等から習い事や自宅への送迎 ・ 休日の食事付きの託児 ・ 閉園後の一時預かり ・ 会員の講習会など 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の手が届かない「子育てスキマ」は少なからず存在すると思われるが、一時保育の制度もあるため本制度を利用するまでもない場合が多い。 ・ どこにも相談できない方のセーフティネットとして機能を維持していければよいと考えている。 				

R5年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：利用者数が激減しており、需要と供給量の見直しが必要。				
評価	C					

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児家庭に制度の周知を行い、本当に困った時には活用できる体制を整えたい。 ・ 保育者の意見・要望を明確にし、日常の子育てスキマとサポート需要を把握したい。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援ネットワーク協議会の取組の推進	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	子ども家庭福祉事業	事業番号	2083		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	10	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもと子育てにやさしいまちづくりを実現する。
Plan(事業概要・計画)	○要保護児童対策地域協議会の適切運営。・代表者会議(年1回)・実務者会議(年2回)・個別ケース会議(随時) ○普及啓発活動。(11月の児童虐待防止推進月間に重点的に取り組む) ○子どもが安心して過ごせる居場所提供。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額					7,539,141円
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	虐待通告(相談)件数	件	23	15	35	65%
②	子どもの居場所利用者(実人数)	件	-	10	16	#VALUE!
③		件	-			
実施内容						
・虐待通告(相談)件数：23件　・虐待認定件数：11件 ・実務者会議(R4.7月、12月(予定)に実施)・個別ケース会議(4回実施)・代表者会議(1月実施) ・子どもの生活・学習支援事業						

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
・要対協と教育課、学校との連携について、以前より敷居が低くお互いが情報共有できるようになっている。 ・個々のケースがそれぞれ重複課題を抱えて、対応に時間を要し、信頼関係を築くのに時間を要している。 ・不登校等のための子どもの居場所において、学校でも家でもない居場所となり、通える子が増えてきている。						

R5年度（3月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： こどもの居場所や、保護者支援等の体制整備が出来つつある。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
・R5は子ども家庭センターを設置し、支援充実を図りたかったがマンパワー不足もあり、現状維持となっている。 ・子育て支援(不登校等支援、保護者支援等)を計画的に進め、事業化できた。(こどもの生活・学習支援事業の実施) ・要対協のケース増加に伴い要支援家庭へのフォロー体制など、運営強化していく必要がある。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	ちづ保育園事務費	事業番号	2050		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番 112

R5年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	「共に手を携え生きていく力を育てる」
(1)ちづ保育園の全体計画、年間指導計画、例月計画をもとに、日々の安全で安心できる健やかな保育を実施する。 (2)特別保育の実施により多様化する就労形態に寄り添い、子育てと暮らしを支える。 (3)地域の方との積極的な交流を図り、子どもの成長発達に繋げる。	

R5年度

(単位：円)

Do(実行)	R5実績額					円
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	保育の質向上のための研修等(指導計画検証)	回	54	60	72	133%
②	小学校との円滑な接続にかかる就学支援	回	5	5	7	140%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育では職員が確保でき、安定した保育を実施することができた。 ・多様化する時代の変化に対応した保育を行うため、職員研修と保育理念の共有を図り、スキルアップを図った。 ・運動会、作品展では地域の方を招き、少しだが保育園の様子を知ってもらった。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのため出勤できない職員もあった、皆の協力でなんとか保育園の運営ができた。安定した保育ができる人員数を確保する必要がある。 ・若手保育士が増加し、保育士の対人支援スキルの向上により保育の質を高めていく必要がある。 				

R5年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 就学前児童の健やかな育ちを支え、家庭と連携して良好な発達を支援している。				

R5年度

Action(改善)
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式に対応した保育方法や家庭との連携体制が求められる。 ・行事等、YouTube配信を実施し、保護者の子どもへの関心を高める。 ・地域の方との交流を計画し、子どもの心やからだの成長発達に繋げる。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	保育園事務費	事業番号	1080		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番 112

R5年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労等の事由で家庭での保育が難しい状況の園児を保育時間外に保育する「延長保育」、風邪等に罹患した状態を保育する「病児保育」、一時的な保育を行う「一時預かり事業」の実施。 ・多様な年齢、特性を持った子どもを受け入れる「乳児保育」、「障がい児保育」の実施。

R5年度

(単位：円)

Do(実行)	R5実績額					円
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	延長保育利用希望申請園児数	人	68	60	43	63%
②	病児保育利用日数	日	104	120	165	159%
③	一時預かり事業利用希望日数	日	80	100	89	111%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の保育に加え、延長保育、病児保育、一時預かり保育を行うことで、共働きの家庭をはじめとする現代の多様なニーズに合った保育サービスを提供し、智頭町で子育てをする町民ひとりひとりを支えている 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の多様な保育ニーズに沿ったきめ細かい保育サービスの提供ができた。 ・利用を希望された保育サービスを提供するために必要な職員の確保及び配置の維持が必要である。 				

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： ほのぼの保育所との連携により、待機児童の防止に貢献している。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、在籍園児数は減少しているものの特別保育を希望・利用する園児数には大きな変化が見られないため、現状を維持した保育サービスの提供を行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援センターの利用促進と家庭訪問事業による母子指導の推進	所属	教育課	SDGs	11	
事業（細目）名	子育て支援センター / 育児支援家庭訪問事業	事業番号	1786 / 1798			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	12	連番	113

R5年度

Goal(目標)	子育て中の親子が相互の交流を行い、子育ての相談、情報の提供、助言、援助を行うことで孤立感や不安感の緩和を図る。
Plan(事業概要・計画)	<p>▶乳幼児保護者の幸福感アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安らぎとワクワク感がある行事を企画し、親子で集まりやすい雰囲気をつくる。 ・保育者同士の対話を増やし、繋がりによる安心感・連帯感を高めることが育児不安の緩和に繋がる。

R5年度

Do(実行)	R5実績額					5,113,000円
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	利用人数	人	1,049	1,000	1,121	107%
②	設定保育・行事・お出かけ支援数	件	59	76	32	54%
③	子育て講座	件	7	7	6	86%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広場 平日9:00～16:00開設 ・誕生会（毎月）・作って遊ぼう（毎月）・お出かけ支援（毎月） ・行事（運動会・お楽しみ会・収穫祭・クリスマス会・お散歩会） ・子育て講座（ベビー&ママヨガ講座ほか） 					

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる身近な拠点としての中核的な役割を果たし、子育て中の親子が気軽に集うことで、必要な講座や情報提供、子育ての不安・負担の軽減につなげた。 ・感染症拡大懸念から利用者が減少傾向かつ同じ顔ぶれとなっている。支援センターの存在を知らない家庭もあると見受けられ、周知・呼び込みにより活気づけたい。 					

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 育児中のリフレッシュとして作用している。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安らぐ空間づくりと仲間づくりに繋がる行事の企画を行う。 ・子供達が広々と遊べる空間と玩具の種類の多さからも施設としての利用価値は高いが、利用者の減少により施設の維持管理費については費用対効果が低い。少子化により更なる利用者の減少が見込まれるなか、立地場所も含め改善の余地が見られる。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者等移送サービス事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	社会福祉総務費	事業番号	1057			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	13	連番	114

R4年度

Goal(目標)	在宅生活の自立支援を図り、地域福祉の増進・地域の交通手段の確保
Plan(事業概要・計画)	シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う。

R5年度

Do(実行)	R5実績額		756,000			
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)	
①	福祉有償運送サービス	円	528,000	900,000	756,000	143%
②						
③						
実施内容	シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う（利用者が負担する年会費に相当する額6,000円×126人）。					

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	福祉有償運送については、高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保するための重要な役割を果たしている。					

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：交通弱者に必要な事業であったが、共助交通へ移行する。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
福祉有償運送については、令和5年度から始まった共助交通とのすみわけを行いながら、現状維持を目指す。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	成年後見制度等の活用による高齢者の権利擁護の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・権利擁護事業費)/成年後見制度利用支援事業	事業番号	2105/1943		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	14	連番

R5年度（3月記入）

Goal(目標)	高齢者の権利擁護の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者虐待、消費者被害など権利擁護に関する相談受付・対応、必要な情報提供。 ・ 消費者生活センター、あんしん相談センターささえー等との連携。 ・ 成年後見制度の利用促進における申請の支援。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	高齢者虐待・権利擁護に関する相談実件数	件	5	5	8	100%
②	後見人等報酬助成件数	件	0	2	0	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や家族、関係機関等からの権利擁護に関する相談の受付、対応、情報提供を行う。 ・ 消費者被害に関しては消費者生活センター、判断能力の低下がみられるケースについてはあんしん相談センターささえー等と連携して対応。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待の恐れありと通報があったケースに対してR2末に改正したマニュアルに沿って対応が可能となった。期日を決めて、評価していくことが必要であるが、その判断が曖昧になりやすい。 ・ 消費者生活センターやささえー等の関係機関と随時相談、連携し、丁寧な対応や啓発活動が行えている。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：年々件数が増加しており、継続して対応する必要がある。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者虐待の初期対応は迅速に行っており、対応計画の作成及び対応は行っている。期限までに対応の評価が行えるよう、スケジュールを可視化できるようにするなど工夫する。 ・ 消費者被害や成年後見制度利用に関して、各関係機関と連携し、相談対応、啓発活動を引き続き行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11	
事業（細目）名	認知症初期集中支援推進事業	事業番号	2046			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	15	連番	116

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れ相談日の設置 ・医療・介護の専門職(保健師、看護師、介護福祉士、社会福祉士等)が認知症サポート医の助言指導を受け、認知症地域支援推進員とも連携を図りながらチームを作り集中的に自立生活のサポートを支援をしていく。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額		8,418,980円			
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)	
① 物忘れ相談延件数	件	9	10	1	111%	
② 認知症初期集中支援チーム会議件数	件	0	1	0	#DIV/0!	
③ 認知症初期集中支援チーム検討会	回	0	0	0	#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月定例で物忘れ相談日を設け、タッチパネルを用い認知機能低下の早期発見、早期対応、本人や家族の安心に繋げる。 ・認知症初期集中支援チームを再形成し、チーム会議を開催する予定にしていたが、実施体制が整わず未実施。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れを心配している人が相談に来やすいよう毎月定例で相談日を設けているが、訪れる人が少ない。 ・認知症初期集中支援チームの要件、体制が整わず、数年稼働できていない。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	D	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	D	評価理由：チーム体制が未整備で活動できず。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・随時相談対応を受け付けているため、物忘れ相談日に来所される人は少ない。タッチパネルの活用が必要。 ・初期集中支援チームについては、現在体制を検討中。チーム員会議を年に1～2回、検討委員会も年に1回実施する予定。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業番号	2047			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	15	連番	116

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な相談窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者家族の会の開催。 ・認知症当事者やその家族、地域住民などが集える場所(オレンジカフェ)の開催 ・認知症を知り地域で支える研修会の開催

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	3,202,476円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	介護者家族の会参加延人数	人	36	50	47	139%
②	認知症カフェ(オレンジカフェ)参加者	人	156	200	332	128%
③	智頭町福祉のまちづくりフォーラム参加者	人	0	100	96	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と家族の会鳥取県支部代表者を助言者に迎え、日ごろの家族の悩みを引き出したり、介護者同士の経験を共有しあっている。家族の会への参加が困難な場合は個別訪問し対応している。 ・9月世界アルツハイマー月間に合わせて、ちづ図書館で認知症啓発のためのパネル展示を実施。 ・認知症カフェを2カ所で毎月1回開催。 ・令和6年3月3日に、生活支援体制整備事業と抱き合わせて、認知症を絡めたまちづくりフォーラムを開催。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・家族だけでは抱えきれない相談の場として、介護者家族の集いは有意義なものとなっている。周知不足等もあるため更なる方法の検討も必要。 ・認知症カフェ参加者には現在当事者は不在。引き続き当事者が集えるような在り方の検討が必要。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：参加者は固定化。参加したいけど来れない人へのアプローチ方法を要検討。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、介護者家族の集いにほのぼのケアセンターのケアマネジャーが参加し、ケースの困難事例の相談や共有ができています。認知症は地域の問題でもあるため、地域づくりの視点からのアプローチが必要であり、フレイル予防サポーターと一緒に研修会等を企画していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・総合相談事業費)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者についての総合相談を受け付ける。 ・介護認定の申請受付。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	18,944,936円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	総合相談受付延件数	件	6,676	7,000	6609	99%
②	介護認定新規申請受付件数	件	171	160	139	81%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の総合相談窓口として、医療・介護・福祉や、それに関する社会資源についての情報提供も含めた総合相談を実施。関係機関との連携も行う。 ・総合相談の結果、要介護認定の申請が必要な人には、申請書類の受理、認定調査を行う。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・町内外関係機関や民生委員等と連携しながら、総合相談につないだ方がよいケースを早期に把握し、対応している。 ・高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの知名度は低く、引き続き窓口のPRは必要。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：相談や連携等の実績が増加しており、継続して事業を行う。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い総合相談を行えるよう、引き続き、関係機関等との連携を行い、職員の質の向上（研修受講など）に努める。 ・地域包括支援センターの役割を、パンフレットや広報等を活用して周知する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	16
事業（細目）名	同和対策事業	事業番号	1071		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	部落差別をはじめとしたあらゆる差別の解消、人権課題の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町人権同和教育推進協議会との連携（人権問題講演会、小地域推進集団学習会） ・ 部落解放同盟へ活動支援 ・ 人権意識調査の実施

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	14,546,666 円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	人権意識調査の実施、分析	回	0	1	1	#DIV/0!
②	人権問題講演会、研修会の実施	件	3	3	3	100%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 水平社智頭支部 100周年及び智頭町同和行政50周年記念講演実施 ・ 職員等人権同和問題研修会実施 ・ 人権意識調査の実施、分析 				

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町人権同和推進協議会の活動が徐々にコロナ前と同様になり、小地域学習会の対面実施が増加した。 ・ 水平社智頭支部 100周年及び智頭町同和行政50周年を記念し、講演会を実施できた。 ・ 職員等人権同和研修を2回実施した。 				

R5年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：人権意識調査の実施、各種研修等、人権意識向上につながる事業を行うことができた。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>年間の研修が6回程度あるため、内容が重ならないように、テーマの選定を工夫する。 受け身の研修だけでなく、参加型の研修を取り入れてみるよう検討する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	情報公開条例・個人情報保護条例に基づく円滑な情報公開の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	一般管理費		事業番号		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑰	連番 118

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	町政の説明責任を全うすることにより、公正で開かれた町政を推進する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開の積極的な実施 ・個人情報取扱の厳正化

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)					R5実績額	0
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	情報公開請求件数	件	44	50	37	84%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開請求があった際、各担当課へ通知する。 				

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の情報公開請求件数は37件であり、円滑に処理をおこなえた。 ・3カ年の件数はR3年度が49件、R4年度が44件、R5年度が37件となった。 ・請求内容は工事設計書、本人通知制度に関する物が主だった。 				

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：条例改正等の見直し、情報公開事務も適正にできた。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)					
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開条例、個人情報保護条例及び施行規則の見直しを適宜おこなう。 ・個人情報保護の厳正化にも注意しつつ、情報公開制度について、町報や告知端末等を使用して町民へ広く周知する。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（障がい者自立支援）	所属	課	SDG s	
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業（障がい分）	事業番号	2099		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	19	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者・その家族の心身の状態や生活の困り事が相談でき、地域で安心して生活出来る。
Plan(事業概要・計画)	障がい者・その家族の心身の状況や生活の困り感等の相談に応じ、必要に応じて医療や障がい福祉サービスの利用に繋げる。鳥取県東部4町共同で相談支援センターサマーハウスに業務委託し実施。障害者総合支援法に定められた必須事業。

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R5実績見込額	3,391,300円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	相談回数	回	764	734	794	96%
②	サービス利用への結びつけ	名	5	5	7	100%
③	サマーハウスとの定例会	回	11	12	12	109%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談（訪問・来所・電話・ファックス等） ・個別支援会議 ・研修会・会議等への参加 ・見学・通院同行 ・ひきこもり訪問 ・その他個別ケースに応じた対応 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		業務を委託する相談支援センターサマーハウスの所在地からの距離、業務量の多さから、支援を必要とする際に即応が難しい場合も生じている。基本的には、対象者の個別性に応じた支援が出来ている。				

R5年度（3月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：義務的事業であるため、検討を行いつつ引き続き必要と判断した。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
継続して業務委託を実施し相談支援体制の提供を行う。R6より鳥取県東部4町共同で基幹相談支援センターの設立を行うため、基幹相談支援センターと連携しながら相談支援体制の強化を図る。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域生活支援事業（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	20	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	地域の状況に応じ柔軟に事業を実施し、地域で日常生活及び社会生活を営むことが出来る。
Plan(事業概要・計画)	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施することで、障がい者等が地域で日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。障害者総合支援法に定められた必須事業と任意事業からなる。

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績額	4,347,309円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	事業実績見込	千円	3,340	4,119	4,348	123%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通支援事業 延利用数94回 ・日常生活用具 延利用数48回 ・移動支援 延利用数18回 ・日中一時支援事業 延利用数0回 ・自動車改造助成 延利用数1回 ・訪問入浴サービス 延利用12回 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		コロナ禍以来利用が少なかった事業の中には、利用状況が回復している事業もあるが、全く利用状況が回復しない事業もある。				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：義務的事業であるため、引き続き必要と判断した。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
地域生活支援サービスについては利用者の状況変化や死亡により増減があるが、提供事業所や対象用具については関係事業所、他自治体と協議し提供体制の継続的な強化を図る必要がある。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	世帯を横断する低所得者対策事業	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	子どもの貧困対策推進事業	事業番号	2026		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	11	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	ひとり親・貧困家庭の支援及び本町の貧困家庭の状況について取りまとめる。
Plan(事業概要・計画)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><子どもの学習支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年～3年（毎週火曜日） ・中学校3年(毎週金曜日) </div> <div style="width: 45%;"> <p><子どもの居場所づくり推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂「えん」(旧諏訪保育園)開催(毎週水曜日) </div> </div>

R5年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R5実績額	4,192,666			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	子どもの学習支援利用者数（小学生）	人	229	312	239	136%
②	子どもの学習支援利用者数（中学生）	人	104	104	19	100%
③	子ども食堂利用者数	食	1765	1560	1560	88%
実施内容						
<p><子どもの学習支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年～3年（毎週火曜日） ・中学校3年(毎週金曜日) 		<p><子どもの居場所づくり推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂「えん」(旧諏訪保育園)開催 				

R5年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援教室委託先と定期的に面談を実施し、利用者の状況や教室の課題等を把握。 ・子ども食堂は新型コロナウイルス感染症5類以降後もテイクアウトを継続し、テイクアウトでの利用者が増えている。 						

R5年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 定期的にヒアリング等を実施し、事業を改善していく必要がある。				

R5年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・委託先との定期的なヒアリングを継続し、事業内容の改善、利便性の向上に努める。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	自主防災組織の育成および活動支援	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181			
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	1	連番	123

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	自主防災組織（支え愛マップ作成済自治会）率100%
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会（自主防災組織）向け防災活動用補助金を活用した地域防災活動の支援。 ・支え愛マップづくりを支援する。→説明会の開催、実施支援。

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	みんなで取り組む防災活動支援事業費補助金活用	自治会	3	3	0	0%
②	支え愛マップづくり	自治会	2	2	5	250%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用自治会：実績なし（町報11月号に補助金の記事掲載） ・支え愛マップづくり支援：河一（継続）、河三（継続）、木原（継続）、新田（継続）、中村（継続） 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支え愛マップづくり事業が新型コロナウイルス感染症の影響により減少 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：支え愛マップづくりの更なる取り組みが必要。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・支え愛マップづくりの新規作成、更新作業を社協と共に呼びかける。 ・補助金についての問い合わせもあることから関心・ニーズは少なからずあると思われるため、広報回数を増やし、活用を呼びかける。

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	消防団活性化対策の推進	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	非常備消防費	事業番号	1179			
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	2	連番	124

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	消防団活動を継続させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の装備の充実を図る。 ・消防団員の処遇改善。（報酬等）

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)			R5実績額	29,449,566円			
活動実績を示す指標			単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	消防団員数	人	363	347	347	96%	
②						#DIV/0!	
③						#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・団員報酬の個人支払を行った。 ・消防団員数を維持するために、戸別訪問を行い勧誘する。 						

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・団員報酬等の処遇改善と併せて幽霊団員等の処遇見直しを行っている。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：団員報酬等の処遇改善を実施した。団員確保の継続が課題。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・幽霊団員等の処遇見直しを継続して行う。 ・補助金等を活用し消防団員の装備の充実を図る。（R6年度は雨衣を整備予定。） 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	疎開保険事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	疎開保険事業	事業番号	1951		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	6	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	加入者へ町の特産品を送ることで智頭町ついて興味を持ってもらい、関係人口の創出を図るとともに町内生産者の収入向上に繋げ地域活性化を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・疎開保険加入者への特産品送付 ・疎開保険のPR活動の実施（疎開保険体験ツアー） ・疎開保険NFTの発行

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)		R6実績見込額			2,100,733円	
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	加入口数（3月31日時点）	口	104	80	69	66%
②	特産品送付	回	1	1	1	100%
③	疎開保険NFT	口	5	4	0	0%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品送付（69口、118人に送付） ・疎開体験ツアー（11/11～11/12） ・疎開保険NFTは令和6年度当初に発行予定（1人コース、2人コース、3～4人コース） 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申込システムを刷新、利便性の向上を図った。 ・疎開体験ツアーを実施、今回からNFT購入者優先招待を追加した。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由:	申込システムの再構築により、利便性は向上しているため、さらなる加入者の増加を図る必要がある。 企業と連携するなど積極的に検討していく必要がある			

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R6実施内容の改善及び見直しの上、R7の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・申込システムの安定運用 ・疎開保険NFTの拡充と、疎開体験ツアーの参加枠拡大

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	まちづくり支援事業	所属	企画課	SDGs	8、11	
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくりまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	10	連番	127

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	コミュニティ団体やボランティア団体等が行う地域に密着した協働によるまちづくりを推進し、地域活動の振興を図り、まちづくりへの説教的な参加を促していくことを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成・告知端末等による情報周知 ・まちづくり団体による申請内容の精査 ・選考委員会の開催による事業採択

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績見込額	2,208,545円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	情報提供	回	4	3	3	75%
②	まちづくり支援事業の申請数	件	2	5	5	250%
③	②のうち採択事業数	件	2	4	4	200%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・町HP、告知端末を活用した住民への周知を行った。（3期分） ・申請事業を行う団体へのヒヤリングを実施。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・採択事業により新たなイベントの実施、旧山郷小学校と五月田集落の駐車場整備繋がった。 ・採択事業の経過をしる報告会を開催できていない。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 予算の範囲内での事業であるが、団体などが新たなチャレンジを実施する事業であり、効果はあるが財源がなくなる後のことも検討すべき。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに事業を実施するため、申請内容のより正確な審査が必要。 ・様々な団体へ補助制度の更なる周知の徹底。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	観光協会の機能強化及び国内外へのPR	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	13	連番

R5年度（3月末）

Goal(目標)	智頭町の観光の中核を担う観光協会内の魅力向上をはかる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材の磨き上げ。 ・観光協会運営補助。 ・旅行商品の造成。 ・情報発信及び物販売り上げの増加。 ・県外でのPRイベントに参加する。

R5年度（3月末）

Do(実行)	R5実績額		24,467,653円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	観光協会独自のツアー造成数	個	11	15	10	91%
②	物販売上収益	円	2,084,498	2,500,000	3,182,592	153%
③	都市部へのPRイベントへの参加	件	7	5	7	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな目線での観光PR及びツアー造成。 ・売上増加のための物販陳列商品の見直し。 ・観光協会への運営補助。 ・町や観光協会のHP、SNSを活用した国内外への魅力発信。 				

R5年度（3月末）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の運営は行政依存となっており、ツアー造成や物販売上の増加など自主努力を伴った運営気概を引き出す必要がある。 ・県外でのマルシェやイベント等に参加し、智頭町のPRを行った。 				

R5年度（3月末）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： ツアー企画や物販はこれまでのよりも努力され、自主財源の確保に努めている。今後も近隣観光協会（自治体）との連携を図りながら財源確保に努めていただきたい。				

R5年度（3月末）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は関西万博等も見据えた観光客増加に向けた自主的な取り組みが必要不可欠であり、近隣エリアとの連携強化を計っていく。 ・智頭町の特色である取組（森のようちえん・住民自治・SDG s等）を対外的にPRしながら、観光協会の収入源となる旅行商品数の増加に繋げていく。 ・観光での来町から智頭のファンになってもらい、移住に繋げるという流れを作るべく、観光と移住と事業間で連携しながらPRイベントなどを行っていく。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	東部圏域をはじめとする近隣自治体との連携による移住定住促進及び広域観光事業	所属	企画課	SDGs	17	
事業(細目)名	移住定住促進事業	事業番号	1741			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	14	連番	129

R5年度

Goal(目標)	鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、新温泉町、香美町と連携することにより、県外の人にイメージをもってもらいやすくし、観光PRや移住定住相談等の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の自治体と連携し、移住相談会を開催する。 ・魅力発信事業による町のPRを推進する。

R5年度

Do(実行)	R5実績額					5,280,000円
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	移住相談会への参加	件	1	1	1	100%
②	町民ライター数の増加	人	11	12	6	55%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちとして「とっとり来楽暮カフェ」へ参加 ・町民ライターを活用した町の魅力発信 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・町民ライター数は減少しているが、計画的にコンスタントな投稿を行うことや、投稿内容の質向上により、フォロー数やいいね数など着実に増加している。 				

R5年度

	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： スケールメリットを活かした取組であることから、より一層の連携を図る必要がある。					

R6年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進及び観光客増加をしていくため、中核市である鳥取市との連携しアフターコロナに向けた効果的なPR方法について協議を重ねる。 ・新規取組の「遊ぶ広報事業」も活用し、関係人口の創出に繋げていく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報発信の強化	所属	企画課	SDG s	17
事業(細目)名	文書広報費	事業番号	1008		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	18	連番 131

R5年度(3月記入)

Goal(目標)	広報誌作成等を通し、住民らに行政情報や話題を提供するほか、町外の方に智頭町に興味を持ってもらう契機とする
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の広報誌の発行 ・読み手が興味を持つような記事の作成(随時) ・読みやすく、興味を引くようなレイアウト、書体の検討(随時)
	<ul style="list-style-type: none"> ・町政に関する情報の発信

R5年度(3月末)

Do(実行)						R5実績見込額 4,777,230円
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	広報担当者主導による特集作成数(イベント等によるものを除く)	件	4	4	4	100%
②	広報誌の発行数	冊/年	12	12	12	100%
③	外部団体SNS、発行物への情報提供数	件	7	5	3	43%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の広報誌の発行 ・広報誌のレイアウト検討 					<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちりレー記事等の作成

R5年度(3月末)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町で行っている事業や開催予定のイベント、くらしの情報について情報を発信した。 ・広報紙製作費用が、他市町村よりも事業規模と比較して大きくなっている実態があるので見直しが必要。 ・世話人の負担となっている配布方法の検討が必要。 					

R5年度(3月末)

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：見やすさ、読みやすさをさらに追及していく必要がある。町民に読んでもらえる誌面の内容をもっと検討する必要がある。				

R5年度(3月末)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> ・情報媒体としてだけでなく、読み物としても楽しめるような広報誌の作成(特集記事の作成など) ・広報誌制作コストと読みやすいデザインを両立するための検討(文字数の削減/内製化の検討など) ・世話人の負担となっている配布方法の検討が必要 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかい奨学パッケージの推進	所属	企画課	SDGs	17
事業(細目)名	おせっかい奨学パッケージ推進事業	事業番号	2086		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	③ 仲間づくり	事業番号	20	連番

R5年度(3月記入)

Goal(目標)	子どもたちの学びたい気持ちを支援し、町外で学ぶ間もおせっかいでの町、町民とのつながり続け、子どもたちの町への愛着を育てる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかい協賛企業やおせっかい川柳を募集し、町内外への周知を図る。 ・おせっかい奨学生インターンプロジェクトにより、奨学生と地域がつながる仕組みをつくる。 ・メンターが発行する「月刊おせっかい」により顔の見える関係性をつくる。

R5年度(3月末)

Do(実行)		R5実績額	4,270,231円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	寄附(企業版ふるさと納税含む)	円	1,105,768	1,500,000	2,445,316	221%
②	おせっかい協賛企業	社	1	5	7	700%
③	月刊おせっかい発行	号	10	12	12	120%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税 2社 ・おせっかい川柳 57首応募(前年度21首) ・おせっかい協賛企業 +7社 ・月刊おせっかい~34号 ・インターンプロジェクト(未実施) 				

R5年度(3月末)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・インターン、交流会の実績がなかったが、一人希望あり。 ・信用金庫との連携説明会で15家庭が参加(現役奨学生1名参加)し、新規登録者20名。 ・奨学生へのアンケート調査等により、やってほしいこと、やってみたいことを見える化する必要がある。 				

R5年度(3月末)

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由: 年々奨学生も増加しているが、本来の目的を理解していない奨学生もいるため、目的周知を図る必要がある。					

R5年度(3月末)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかいアンケート調査を実施 ・奨学生へ対するデジタル村民証の発行 ・保護者、Uターン者への働きかけ 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽化施設更新事業（下水道）	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	建設改良費（公共）、固定資産購入費（農集）	事業番号				
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	4	連番	135

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	農業集落排水事業、公共下水道事業の既存施設、管路の有効利用に伴う補修の実施

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績	77,745,000円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	農業集落排水	千円	36,135	4,659	11,600	13%
②	公共下水道	千円	41,965	72,390	66,145	173%
実施内容						
【公共】 智頭浄化センター機器改築更新						

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
・ストックマネジメントに基づき、修繕、改築を発注。						

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：老朽施設の更新を行ったため。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
ストックマネジメントの見直しを行うため、改築・修繕する施設を精査し、計画を策定する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぐるぐるプラン推進事業	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	ぐるぐるプラン推進事業	事業番号	1854			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	21	連番	137

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	生ごみの減量化、資源化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集し、液肥にすることでリサイクルする。

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績		3,904,232円			
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)	
①	生ごみ回収量	ト	60	60	55	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ削減の為に、さらなる啓発が必要。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 可燃ゴミの削減に貢献。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
生ごみの収集について、ぐるぐる循環部会（百人委員会）とも力を合わせ、さらなる啓発を行っていく必要があると考える。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	資源回収など循環型社会の実現に向けた取組	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	清掃総務費	事業番号	1118			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	22	連番	138

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	リサイクル・リデュースでごみの削減
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ回収に報奨金

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績	97,027円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	資源ごみ回収量	トン	82	100	63	122%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ回収に報奨金 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ回収によるリサイクルの啓発が出来た。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 可燃ゴミの削減に貢献。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
今年度と同様にリサイクルの啓発を継続していく。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者作業所等通所費助成事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	連番	IV-2	

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者作業所等へ継続して通所できる環境を保つ
Plan(事業概要・計画)	障がい者作業所等へ通所するにあたって利用する自家用車、公共交通機関に要する費用の一部を助成することで、経済的に継続して通所可能な環境を保つことを支援する。 3の倍数月毎に、過去3ヶ月分の実績を基に申請を受け付け、年4回の支払を行う。

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R5実績額	695,630円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	令和5年1～9月分申請実績 26名	千円	459	694	497	151%
②	令和5年10～12月分申請見込 27名	千円	159	231	198	145%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関利用者 15名、自家用車利用者 12名に対して助成を実施。 ・内、今年度新規申請者6名。 				

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>申請書類の提出が遅い事業所があり、支給決定に遅れが生じている。</p> <p>新規に通所を始めた利用者は概ね新たに申請しているが、以前から通所している利用者に未申請者がいないかが課題。</p>				

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：継続実施する必要がある。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>共助交通の利用者が増え、前年と同様に推移している。</p> <p>引き続き町村会要望で県費での財政支援の実施を求める。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人と地域をつなぐまちのコイン導入事業	所属	企画課	SDG s	11.17
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番
				連番	IV-4

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	R3年度に本導入したまちのコインの利活用を促進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントに抱き合わせてまちのコインの利用場所を増やす。 ・運営団体候補者の選出・育成

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R5実績額	6,563,700円
活動実績を示す指標	単位	R4(実績)
①	スポット数	件
②	ユーザ数	人
③	イベント回数	回
R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	49	60
②	746	600
③	15	12
R5(実績)	55	1110
R5(実績)	4	27%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光デジタルスタンプラリーの実施（2周年記念イベント） ・普及イベント「てごガチャ」の実施 ・各種イベント（雪まつり、よさこい祭りなど）との連携 	

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等に併せてまちのコインを絡めているため認知度は向上している。 ・ガチャを活用したイベントが好評であった。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 認知度は向上しているが、実際に利用される機会を増やす対策が必要				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントにまちのコインを絡め町内に波及させていく。 ・ガチャを恒常化し、アクティブ利用率を高める。 ・スポットを増やし、まちのコインの利用場所を増やす。